



WOLF WR3



March 761

弊社とセオードールレーシングはオフィシャルライセンス契約を締結いたしました。2016年3月に、第一弾として 1/20 Theodore Racing・Wolf WR3をリリース、同じく「徳利賽車隊」のロゴが映える1/20 761も発売となりました。今後もTheodore Racing Collectionシリーズをラインナップしていくなか、当時の空気感とともに、セオードールレーシングの歴史を感じていただければと思います。そして、2013年より復活した、セカンドジェネレーションのセオードールレーシングへの応援もあわせて、どうぞ宜しくお願い致します。

インドネシア生まれの華僑である創業者ティ・イップシニアは若かりし頃、レーシングドライバーとしてレースに参戦。マカオグランプリに参戦した実績もあり、その後自らがチームオーナーとなり、日本以外のアジア諸国では最初のF1チーム、セオードールレーシングが誕生しました。かつてセオードールレーシングに在籍していた有名ドライバーの中には1983年のアイルトン・セナ (Ayrton Senna) 選手と1990年のミカ・ハッキネン (Mika Hakkinen) 選手がいました。(マカオグランプリにおける) セオードールレーシングはその後名ドライバー達を沢山輩出し若手有能ドライバーの登竜門となりました。

オーロラAFX F1 チャンピオンシップで活躍した2台のセオードールマシンを再現!

1979年、セオードールはF1への挑戦を取り止め、イギリス国内で開催されていたオーロラAFX F1 チャンピオンシップへの参戦にシフトしました。マシンはWR3とWR4を使用し中盤以降はWR6も投入。この年の開幕戦にアイルランド人ドライバー デビッド・ケネディがポールトゥーフイニッシュを決め幸先良いスタートを切り、その後もコンスタントに表彰台にのぼり、年間ランキング2位の称号を勝ち得ました。80年も参戦し引き続きマシンはWR3とWR4を使用。南アフリカ人ドライバー デザイア・ウィルソンが第二戦で優勝、その後は苦戦しながらも年間ランキング6位の称号を勝ち得ました。今回はこのAFXの背景や当時の歴史と同様に、先に発売をしたケケ・ロズベルグがドライブしたマシンWR3を継承しつつAFX仕様として活躍した2台をクローズアップします。

【オーロラ AFX F1 チャンピオンシップとは】

国際形式のF1世界選手権とは別で、イギリス国内で開催されたローカル選手権がオーロラAFX チャンピオンシップ。スロットカーで有名な玩具メーカーオーロラ社がメインタイトルスポンサーとなり選手権の支援を行いました。基本的には1年落ち以上の型落ちマシンやF2マシンを使用して、イギリス国内及び一部ヨーロッパのサーキットを転戦するシリーズでありました。ドライバーもレース好きのセミプロやF2ドライバー、F1に挑戦し夢破れた者、あるいはF1ドライバーを狙うものなど、どちらかといえばローカルレース的な雰囲気のものでありました。M23やFW07といった型落ちのF-1マシンを改造し自からのチームカラーに変えてレースを行い戦っていました。

★オーロラAFX F1 チャンピオンシップで活躍したマシン ★



M23



FW07



FW07

セオードールレーシングコレクションに待望のニューアイテムがラインナップ

第三弾アイテムとしてSTUDIO27渾身のインジェクションキットをAFXバージョンで2台リリース。
従来の1978 F1仕様にオーロラAFX仕様パーツを追加し、どちらか選択式で製作可能。



ST27-TRK007 1/20 Theodore Racing・Wolf WR3 AFX F-1 1979
予価¥10,584(税込)

#11 DAVID KENNEDY



ST27-TRK008 1/20 Theodore Racing・Wolf WR3 AFX F-1 1980
予価¥10,584(税込)

#3 DESIRE WILSON